

梅雨、そしてアジサイ。ここ松戸ではどこに行っても、例えば、街路樹の周りや田畑の畦、公園、住宅の庭などで、様々な色や形のアジサイが楽しめます。紫陽花の英語名は Hydrangea(ハイドレンジャー)。

江戸時代、シーボルトさんが日本からの帰国時(1829 年・文政 12 年)に何種類かのアジサイを持ち帰って、欧州に紹介しています。葉室麟(はむろりん)さんの時代小説『オランダ宿の娘』では多くの人を巻き込んだシーボルト事件を含めて、そのアジサイのことにも触れています。



▲ 千葉大学園芸学部(松戸) フランス式庭園

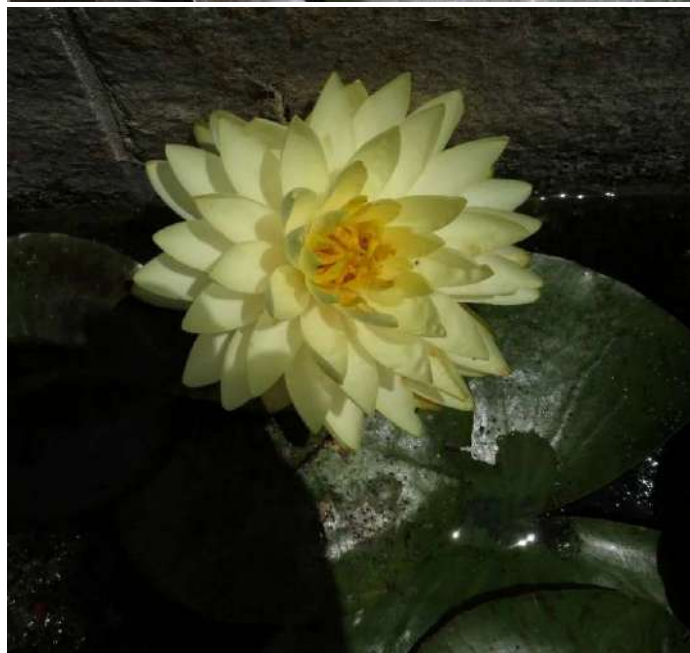
▼ 旭町の農家さん宅の垣根は「アジサイがいっぱい」



● スイレン(睡蓮)

旭町の金蔵院(真言宗豊山派)の参道では、この時期の午前中はスイレンが開花。

金蔵院には恵比寿様(松戸七福神)も祀られています。



●ハナショウブ(花菖蒲)



江戸川の河川敷にある「小岩菖蒲苑」が好きですが、もう一箇所、ここは松戸の対岸葛飾区の「水元公園の菖蒲苑」。

「カキツバタ」「ハナショウブ」「アヤメ」の見分け方の表示がありました、結局よくわかりませんでした。

● 松戸 21 世紀の森と広場、千葉大園芸学部松戸キャンパス、坂川沿い、江戸川から利根運河など

ピラカンサ、アサザ、ビワ、ニワゼキショウ、ノカンゾウ、バラ、ヤグルマソウ、ヒマワリ、等々。草花や木の実の彩りとそれを支える様々な形の緑の色彩が素晴らしい。



▼カルガモの赤ちゃん誕生（旭町）



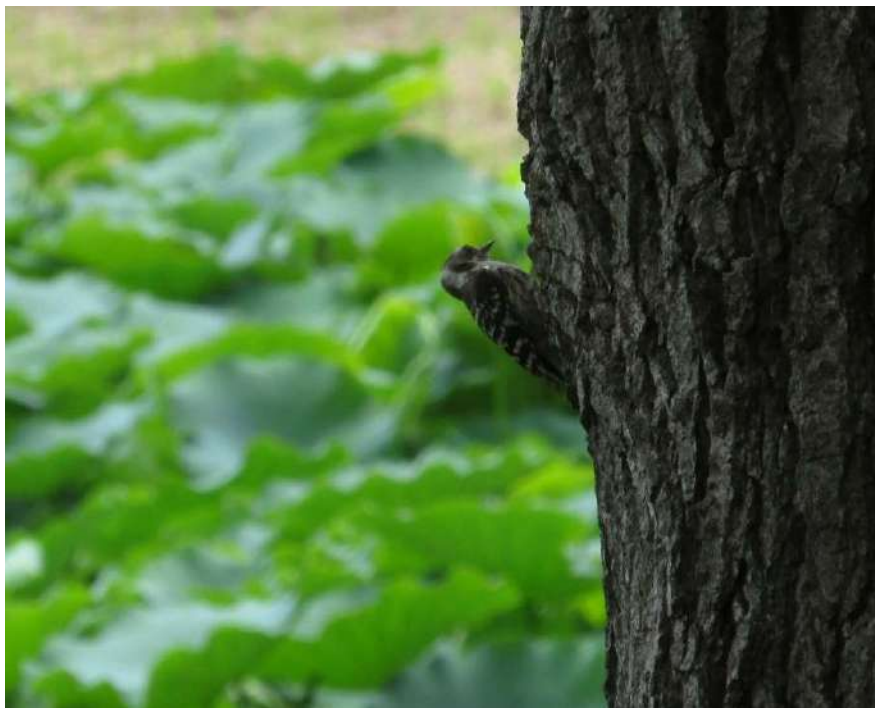
ツバメの巣では孵化した子ツバメが、親の運んでくる食べ物を待っています。

◀田んぼでは稲が 30 センチぐらいの育って、畦にカルガモの親が赤ちゃんを見守っています。

▼トンボ（21 世紀の森と広場）

シオカラトンボ、コシアキトンボなどが、草花の間を忙しそうに飛んでいるのとは別に、水辺の草むらに比較的ゆっくりとした小さなトンボ。

▼アオモンイトトンボのツガイが子作り？！



▲ コゲラ(小啄木鳥) 小さなキツツキです。「 緑の森かげに ひびく歌は〜〜〜  大工のキツツキさん 精出す歌〜〜〜  ホールディーアー ホルディヒヒア ホルディクク〜〜〜 」 歌えますか？

over